



消防だより 119

8月の広報テーマ
火遊びによる火災防止

火遊びによる火災の防止

子供 火の火遊びによる火災は、大人がいけない時や人目につきにくい場所で発生することが多く、このために火災の発見が遅れ、初期消火が困難になり、火災が大きくなることがあります。



また、これら火遊びによる出火件数を発火源別に見ると、ライターによるものが最も多く、ついでマッチ、花火などとなっています。

子供への注意点

- 1、火遊びをしているのを見かけたら注意する！
- 2、子供だけでは火を取り扱わせない！
- 3、子供だけを残して外出しない！
- 4、火災の恐ろしさ・火の取り扱いについて教える！子供を置いて火の手の届かない！
- 5、マッチの届かない！

親や周りの大人が、次のような点に注意を払いながら、子供に対して火の恐ろしさや防火の知識について、年齢に応じた教育を行いましょう。

火災が起こった時、真っ先に危険にさらされるのは子供たちです。日頃から子供たちに火災の恐ろしさや火災予防の大切さを教え、理解させておくことが大切です。

パークゴルフ大会 開催

真 夏を思わせるほど暑い日が続いた7月2日(月)・8日(日)に、あいついで防火パークゴルフ大会が、まばゆい日差しが照りつける夕日が丘パークゴルフ場で開催されました。

2日に開かれたのは、入江4区婦人防火クラブ(会長 高木明美)が主催。クラブ員相互の親睦と洞爺湖消防署と防災の連携を深める目的で開催され、職員と会員あわ

せて14名が参加し、和やかな雰囲気の中で27ホールを楽しく回りました。



入江4区婦人防火クラブのパークゴルフ大会

大会終了後は食事が開催され、「また秋に大会を開催したい」という声も多く聞かれました。

8日には洞爺湖町防火協会(会長 市川友義)が同じく大会を開催。

会員相互の親睦と事業所間の連携を深める目的で22名が参加して開催され、お互いの腕を競い合いました。

ホールインワンやナイスプレーが続出するなど大いに盛り上がり、終了後は観覧会も開かれ、会員間の交流が一層深められた一日となりました。

統一標語は「消さないであなたの心の 注意火」

fire

6月の

●火災件数

●救急件数

0件

54件

Illustration of a firefighter

わたしのうた

短歌【あぶた短歌会】七月定例会



隣り家の母娘の交すこ象楽し

朝の窓に囀ることく

蒔きし種と発芽の苗の数あわず

とほけ顔なり頭上のカラス

もの忘れ日毎にふえて呆けるには

少し早いと心はげます

孫たちよ青芝ぬくく靴ぬぎて

ここに遊ばん夏なつかしき

ひととせを地下に忘るるアマリリス

二輪の白が吾を凝視する

真夏日とおもへば突然冷ゆる夏

日々くすれゆく地上の摂理

終の日の夫の瞳のかがやきに

似たる瞬く星を見てゐる

君と歌つた彼の日へ誘き出されし心地なり

歌の祭典流るる夜は

雨降りて潤ひたれど大地冷え

ストーヴたぎぬ夏の最中に

ほのぼのと余韻残して置く受話器

日曜の朝は孫から電話

俳句【あぶた俳句会】七月定例会

薫風や五桁を示す万歩計

虹渡り湾の向こうも噴火山

老鷺やサミット会場雲の中

豆手竹風の惑へる幾何模様

菜園を喜雨にあずけて夜の盃

サミットに決まりし町も海霧の中

再開に燥ぎし薔薇の疲れかな

湯の街のすべて包んで山笑ふ

- | | | | | | | | |
|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|-------|
| 塩川サチ子 | 小笠原 勇 | 瀬川 稔 | 三瓶 修 | 菅原 敏子 | 矢野 知子 | 井村 育子 | 白井 みえ |
|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|-------|

大久保とみ乃

北島 加代

山木 孝

石黒まさ子

太田 智

室野 晃慶

大西 芳子

伊藤 静子

元田フジ子

赤塚 瑛子